



報道関係者各位

九州大学うみつなぎ

「第6回海辺の教室 in 今津～海と日本プロジェクト」

10月23日に開催しました！

九州大学うみつなぎ「第6回海辺の教室」は福岡市西区今津の海岸で、ハゼ釣り体験を実施しました。また、海の生き物を通して海洋ごみの現状を紹介し、ビーチクリーン活動を通して海洋保全の重要性を子どもたちに伝えました。

【海辺の教室とは？】

海辺の教室は、海の生き物に触れたり、ビーチクリーン活動を行ったりすることで、海のことをより深く知ることができる現地教室です。2020年の第1回目から、中高生と共同で、さまざまな形で行ってきました。

イベント概要

・開催概要

ハゼ釣り体験。海の生き物と海洋ごみのレクチャー。ビーチクリーン活動。

・日程

2021年10月23日 14時～16時

・開催場所

八大龍王神社(福岡市西区今津4付近)

・参加人数

子ども 15名

大人 8名

計23名

運営スタッフ 8名

外部スタッフ 6名

計14名

釣り開始

午後2時に集合。スタッフは事前にPCR検査を行い、感染症対策を十分に行った上でイベントを開催しました。また、事故対策のため、ライフセーバーの方々に来ていただき、参加者にはライフジャケットを貸与しました。

釣りについての説明の後は、全員でハゼ釣り体験。最高の天気の中、ハゼ、キスなど、合計6種類ものさかなを子どもたちが釣り上げ、釣果は上々でした。



レクチャー

魚の種類や生態を説明しながら、近年不漁、小型化が進んでいる現状を紹介し、海洋ごみの説明をしました。レクチャーは清野准教授の他、海の生物に詳しい木下忠昭氏、海洋ごみを使ってさまざまなオブジェクトを創作するペイントクリエイターのしばたみなみ氏が行いました。また、今津の漁業の歴史と民俗について「すみよい今津をつくる会」の横尾会長の講話がありました。プラスチックごみの漂流や生態系への影響について学ぶことで、子どもたちの海に対する興味を引き出しました。



ビーチクリーン活動

八大龍王の周囲でビーチクリーン活動を行いました。細かなプラスチックごみにとどまらず、タイヤなどの大きなごみも漂着します。海流の影響で海から流れてくる海洋ごみについて、参加者の学びになりました。





団体概要

- 団体名称 : 九州大学うみつなぎ九州
- 所在地 : 819-0395 福岡市西区元岡744
- 電話番号 : 092-802-3431
- 統合管理者 : 清野 聡子
- 設立 : 2020年6月1日
- URL : <http://umitsunagi.jp/>
- 活動内容 : 九州大学うみつなぎ九州プロジェクトでは、2020年夏から冬にかけて「日本財団～海と日本プロジェクト～」の一環として、福岡の海や自然をフィールドに、持続可能な循環型社会と海ごみ問題をテーマに活動を展開しています。このプロジェクトの事務局は九州大学大学院工学研究院附属環境工学研究教育センターが中心となって推進しています。



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐア

クシヨンの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

お問い合わせ先

九州大学うみつなぎ 運営事務局

電話番号 : **092-802-3431**

メールアドレス: seino@civil.Kyushu-u.ac.jp

九州大学うみつなぎは、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、次世代へ海を引き継ぐため、海を介して人と人がつながることを目的として、本事業を実施しています。